Exchangeコネクタを使用したハイブリッドカレンダーに関するトラブルシューティングのエラー";管理者によるアクティブ化保留中(&Quot;)

内容

はじめに

前提条件

要件

使用するコンポーネント

背景

<u>コントロールハブエラー</u>

ログの収集

Control Hub

<u>要求URL</u>

Expresswayコネクタ

ロギング・レベルの理解

Expresswayコネクタのログ分析

検証

Exchange サーバ

MSExchangeイベントビューアのログ

Exchange管理シェル

根本原因

解決方法

<u>関連情報</u>

はじめに

このドキュメントでは、Control HubのWebexユーザに対してExchangeを使用したハイブリッドカレンダーのスケジューリングを有効にしながら、IDを特定し、エラーを修復する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Webex組織
- Webexハイブリッドカレンダー

• Microsoft Exchange管理コンソール。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Webex Control Hubビルド20240919-84b27c9
- Microsoft Exchange 15.2 (ビルド529.5)
- Chromeブラウザ129.0.6668.58 (公式ビルド) (arm64)

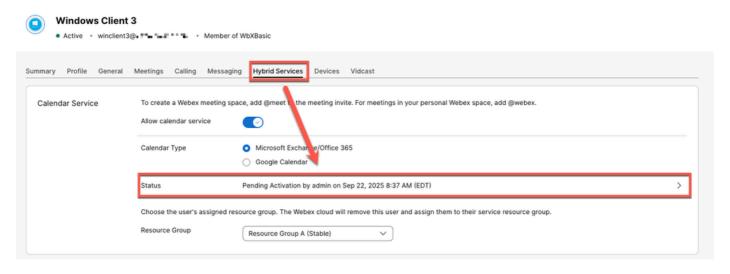
このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景

コントロールハブでWebexユーザ用にExchangeを使用してハイブリッドカレンダーを有効にしても、ステータスがActivatedに変わらず、「Pending Activation by admin...」というエラーでスタックします。

コントロールハブエラー

Control Hub > Management > Users > User affected > Hybrid Services > Calendar Serviceの順に 選択すると、ステータスが「Pending Activation by admin ...」でスタックします。



コントロールハブエラー

ログの収集

Control Hub

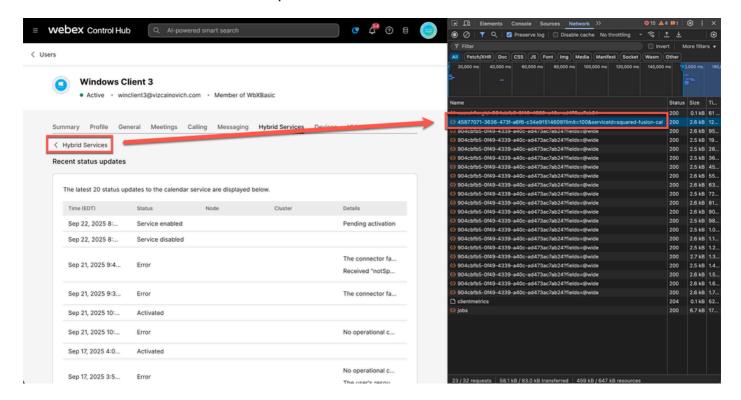
ブラウザから(できればincognitoモード):

Chrome:DevTools > Networkを開きます。

FireFox:Web Developer Tools > Networkの順に開きます。

admin.webex.com > Management > Users > User affected > Hybrid Services > Calendar Serviceの順に選択します。

Statusをクリックし、&serviceId=squared-fusion-calで終わる要求URLを探します。



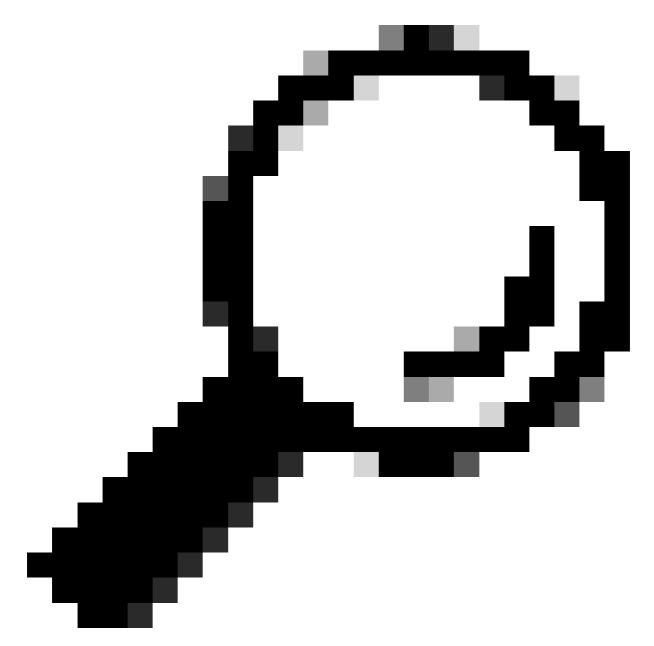
要求URL

要求URL

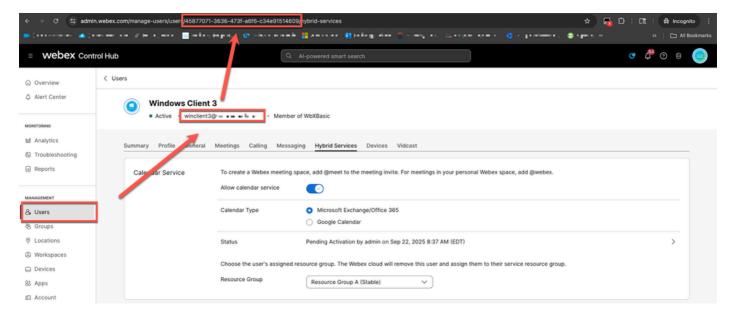
https://uss-a.wbx2.com/uss/api/v1/orgs/904cbfb5-0f49-4339-a40c-ad473ac7ab24/userJournal/45877071-3636-4

userIdは/userJournal/の後、および?limitパラメータの前に表示されます。この識別子は、 Expresswayログ内をルックアップするために必要です。

45877071-3636-473f-a6f6-c34e91514609



ヒント:ユーザIDを見つける最も簡単な方法は、アドレスバーのURLをチェックすることです。

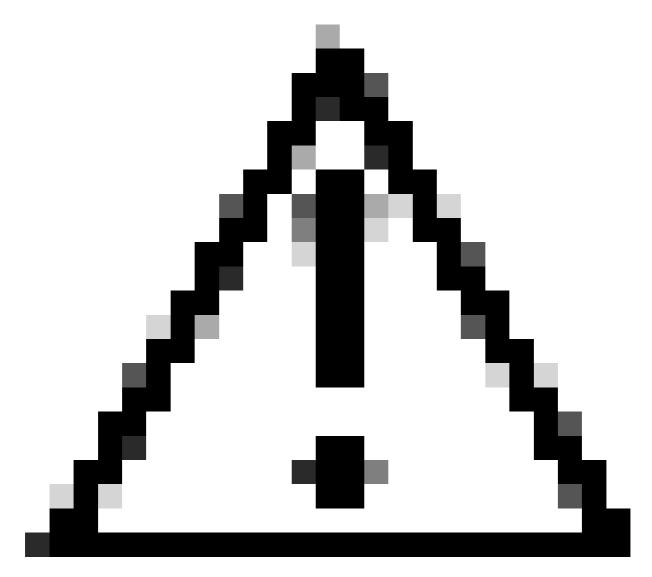


アドレスバー

Expresswayコネクタ

Control HubからのuserIdを使用して、診断ログの有効化、ユーザの非アクティブ化および再アクティブ化に進み、約5分間待機してから、ログを収集します。

Maintenance > Diagnostics > Diagnostic loggingの順に移動します。



注意:必要なログをトラップするには、ログレベルをDEBUGまたはWARNINGに設定してください。 Maintenance > Diagnostics > Hybrid Services Log Levelsの順に選択します



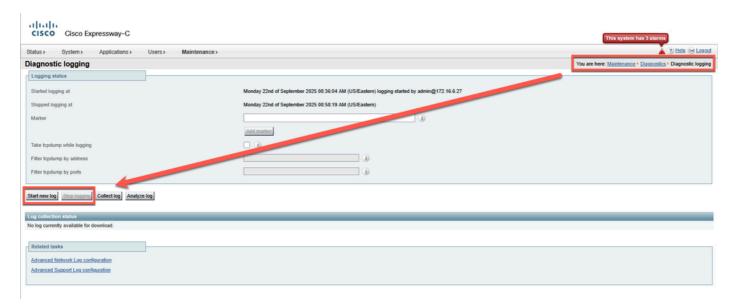
ハイブリッドサービスのログレベル

ロギング・レベルの理解

デバッグ	問題を診断するための詳細情報
------	----------------

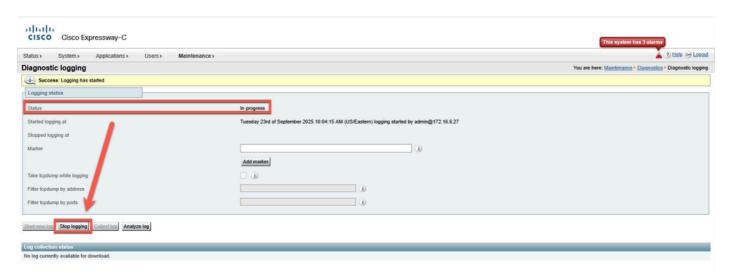
INFO	一般的な操作メッセージ
警告	潜在的に有害な状況
ERROR	引き続きアプリを実行できるエラーイベント
FATAL	アプリケーションの終了につながる非常に重大なエラーイベント
トレース	最も詳細なレベルで、詳細なトラブルシューティングに最も詳細な診断を提供

Maintenance > Diagnostics > Diagnostic loggingの順に移動し、Start new logボタンをクリックしてロギングを開始します。Expresswayがクラスタの一部である場合は、プライマリノードで有効にします。



診断ロギング

Control Hubから影響を受けるユーザを非アクティブ化し、4 ~ 7分待ってから、Stop loggingボタンをクリックします。



ログの停止

Collect logをクリックし、ダウンロード可能なアーカイブへの診断情報の収集およびコンパイル

のプロセスを開始します。

CISCO Cisco Expressway-C	This system has 3 alarms		
Status> System> Applications> Users> Maintenance>	¥ ? Helo → Loosel		
Diagnostic logging	You are here: Maintenance * Diagnostics * Di		
Success: Logging has been stopped and saved			
Logging status			
Started logging at	Tuesday 23rd of September 2025 10:04:15 AM (US/Eastern) logging started by admin@172.16.6.27		
Stopped logging at	Tuesday 23rd of September 2025 10:06:30 AM (US/Eastern)		
Marker	<u> </u>		
	Add marker		
Take topdump while logging			
Filter tcpdump by address	<u> </u>		
Filter tcpdump by ports	D D		
Start new log Stop Joggen Collect log Log collection status			
No log currently available for download.			

ログの収集

アーカイブが作成されると、Download logボタンが表示されます。管理者はこのボタンを使用して、ファイルをローカルマシンに保存できます。通常、このファイルは分析のためにCisco TAC(Technical Assistance Center)ケースにアップロードされます。

CISCO Cisco Expressway-C	This system has 3 plarms		
Status> System> Applications> Users> Maintenance>	▲ ① Hele → Looset		
Diagnostic logging	You are here: Maintenance * Diagnostice * Diagnostic togging		
Logging status			
Started logging at	Tuesday 23rd of September 2025 10:04:15 AM (US/Eastern) logging started by admin@172.16.6.27		
Stopped logging at	Tuesday 23rd of September 2025 10.06.30 AM (US/Eastern)		
Marker			
	Add marked		
Take topdump while logging			
Filter tcpdump by address			
Filter tcpdump by ports			
Start new log Gloco logging Collect log Analyze log Log collection status Download log			

ログのダウンロード

Expresswayコネクタのログ分析

Control Hubから収集された影響を受けるユーザのuserId:

Expresswayログをローカルに抽出し、ファイルloggingsnapshot_<Expressway-HostName>_<Date>.txtを見つけて開きます。

diagnostic_log_ccnp-expressway-hybrid1_2025-09-22_12/58/19 > loggingsnapshot_ccnp-expressway-hybrid1_20

userIdを除外し、userIdを含む検出イベントの直後にEWSServices.bindToCalendarリクエストを見つけます。

2025-09-22T08:38:08.657-04:00 localhost UTCTime="2025-09-22 12:38:08,656" Module="hybridservices.c_cal"

ログスニペットには、Expressway ConnectorとExchangeサーバ間の通信に使用される偽装アカウントを指すusedId 45877071-3636-473f-a6f6-c34e91514609を含む複数の試行が表示され、次のエラーが示されます(図1を参照)。

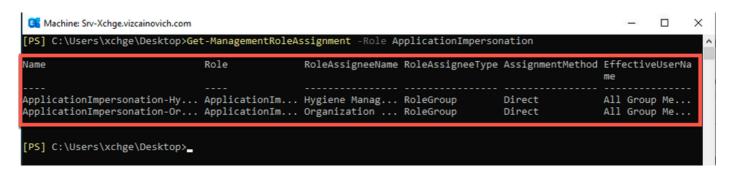
The account does not have permission to impersonate the requested user.

検証

Exchange サーバ

次のExchange Server PowerShellコマンドを実行しているExchangeサーバから偽装アカウントを 検証し、すべてのApplicationImpersonationロール割り当てを一覧表示します。

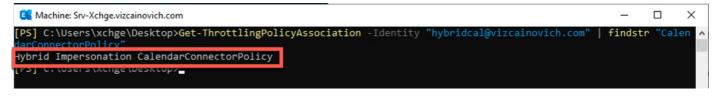
Get -ManagementRoleAssignment -Role ApplicationImpersonation



管理役割の割り当て

偽装メールボックスが、次のExchange Server PowerShellコマンドを実行しているExchangeサーバーからハイブリッド予定表の調整ポリシーを使用していることを確認します:

Get -ThrottlingPolicyAssociation -Identity "impersonation account" | findstr "ThrottlingPolicy"



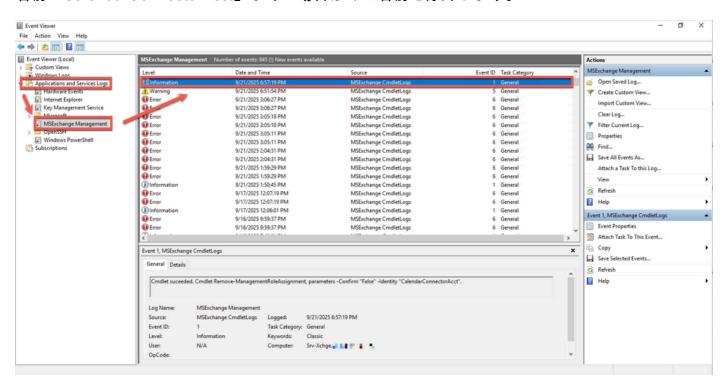
調整ポリシーの関連付け

ハイブリッド予定表展開レコードを参照して、初回セットアップ時に偽装アカウントに付与されたRoleAssignmentを特定します。このシナリオでは、RoleAssignmentは次のとおりです。

CalendarConnectorAcct

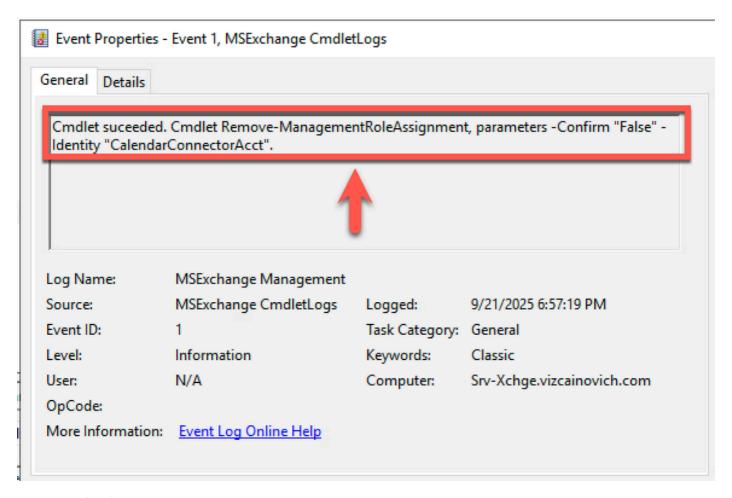
MSExchangeイベントビューアのログ

Exchangeサーバから、Event Viewer > Applications and Services Logs > MSExchange Managementの順に移動し、「CmdletLogs」を含む情報レベルのイベントや、RoleAssignmentの名前「CalendarConnectorAcct」がある場合はその名前を除外します。



イベントビューアのログ

イベントをダブルクリックしてプロパティを開きます。



イベントのプロパティ

Exchange管理シェル

Exchange Server PowerShellの組み込みセッション履歴を使用すると、現在のセッションで使用されているコマンドを追跡できます。

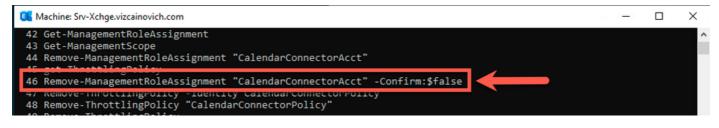
履歴は他のセッションでは使用できず、セッション終了時に削除されます。

PSReadLine履歴を使用すると、すべてのPowerShellセッションで使用されるコマンドが追跡されます。

履歴は、ホストごとに中央ファイルに書き込まれます。履歴ファイルは、すべてのセッションで 使用でき、すべての過去の履歴が含まれます。セッションが終了しても履歴は削除されません。

このシナリオでは、このコマンドを実行した後の組み込みセッションに次の出力が表示されます。

Get-History



履歴の取得

根本原因

Exchange管理者は、次のExchange Server PowerShellコマンドを使用して、偽装アカウントのRoleAssignmentを削除しました:

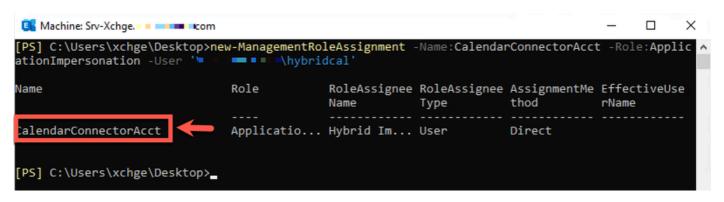
Remove-ManagementRoleAssignment "CalendarConnectorAcct" -Confirm:\$false

この操作を行うと、偽装アカウントの役割がExchangeサーバーのユーザーをサブスクライブできなくなり、ユーザーとワークスペースのアクティブ化が失敗します。

解決方法

Exchange Server PowerShellからこのコマンドを実行して、「CalendarConnectorAcct」という名前の新しいManagementRomeAssignmentを作成し、偽装アカウントhybridcalに割り当てます

new-ManagementRoleAssignment -Name:CalendarConnectorAcct -Role:ApplicationImpersonation -User 'VIZCAINO



new-ManagementRoleAssignment

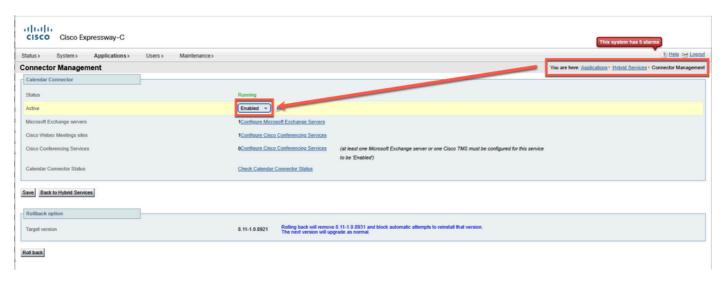
Expresswayサーバからカレンダーコネクタを再起動して、影響を受けるユーザやワークスペースのアクティベーションプロセスを高速化します。

Applications > Hybrid Services > Connector Management > Calendar Connector > Enabledの順に移動します。



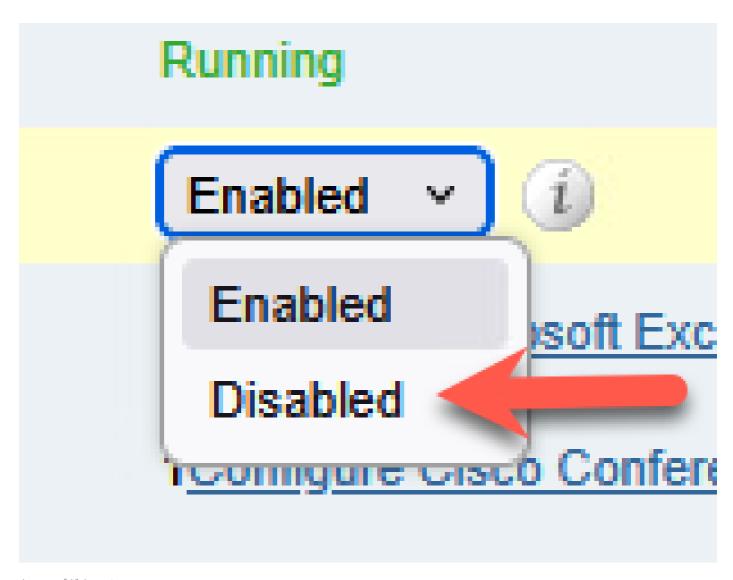
コネクタ管理

カレンダーコネクタ内で、Enableをクリックしてドロップダウンメニューを開きます。



Enabledボタン

ドロップダウンメニューからDisabledを選択します。



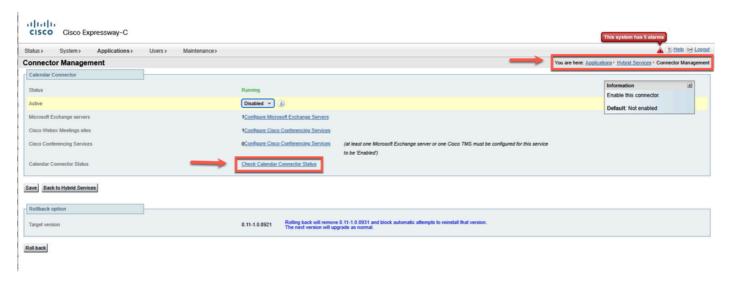
ドロップダウンメニュー

Saveボタンをクリックして、Calendar Connectorで変更を適用します。



保存します。

変更を保存すると、変更はコネクタ管理に反映されます。Calendar Connectorサービスの下部にあるCheck Calendar Connector Statusをクリックします。



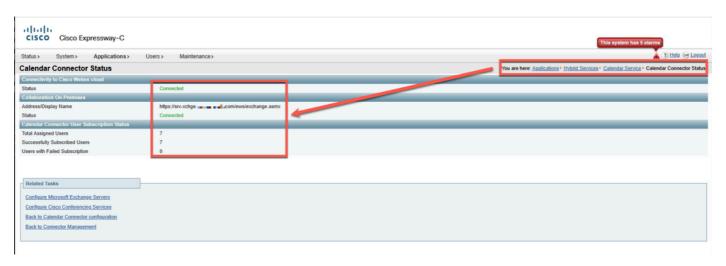
カレンダーコネクタステータス

カレンダーコネクタが初期化されるまで数分待ちます。



再起動

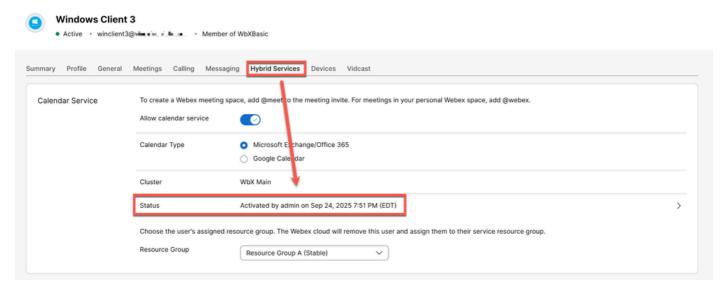
カレンダーコネクタが初期化されると、Expressway接続にExchangeアドレスが表示され、ユーザが正常に登録されます。



接続済み

Control Hub > Management > Users > Affected userの順に選択すると、カレンダーサービスが完

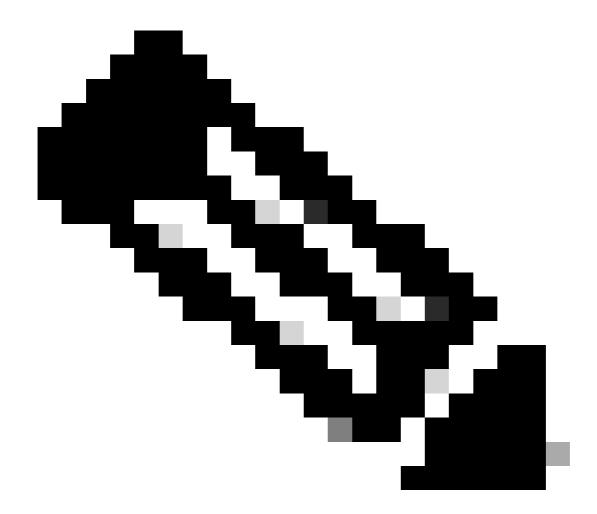
全にアクティブになったことが表示されます。



アクティブ

Expresswayのログに、該当するユーザID 45877071-3636-473f-a6f6-c34e91514609が Exchangeサーバから有効なサブスクリプションを取得していることが示されています。

2025-09-24T20:03:55.984-04:00 localhost UTCTime="2025-09-25 00:03:55,984" Module="hybridservices.c_cal" 2025-09-24T20:03:55.984-04:00 localhost UTCTime="2025-09-25 00:03:55,984" Module="hybridservices.c_cal" 2025-09-24T20:03:56.049-04:00 localhost UTCTime="2025-09-25 00:03:56,049" Module="hybridservices.c_cal"



注:「The account does not have permission to impersonate the requested user」というアラームには複数の原因が考えられますが、それらはすべて偽装アカウントの設定またはExchangeサーバに関連しています。

関連情報

- ハイブリッドサービスとコネクタのトラブルシューティング
- Expressway MRA用のExpressway/VCS診断ログの収集
- <u>Chrome開発ツール</u>
- <u>Firefox開発ツール</u>

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照することを推奨します。